



夢実現・挑戦

津奈木中学校学校だより

令和7年9月26日

第7号

文責：校長 内場

地域に支えられて！2学期スタート

2学期がスタートして早1か月。この間、定期テストに避難訓練、文化祭の準備など、忙しく学習に活動に奮闘しています。その中でも、今学期は、各学年、地域の支援を受けながら活動を進める学習が目白押しです。

【1年生】寒漬け大根づくりに向けて、大根の種まきを行いました。雨上がりの畑は、蒸し暑くて大変でしたが、地域の方や婦人会、保護者の皆様に助けられながら、しっかりと種をまくことができました。昨年度の反省をもとに、今年は品種の異なる数種類の種を蒔かせていただいたようです。今後、大きく育つようしっかりお世話をしていきたいと思います。

【2年生】職場体験学習を行いました。のべ12の事業所にご協力をいただき、2日間の日程で体験を行いました。子供たちは、この職場体験学習に向けて電話連絡や事前の打合せなどじっくり取り組んできました。しかし、いざ現場に入ってみると、外から見ていた状況との違いに戸惑う場面も多く、改めて働くことの大変さを味わったようです。その中でも、楽しさややりがいを感じることもでき、今後の進路を考えるにあたり貴重な機会を得たと喜んでいました。ご協力いただいた職場の皆さん、本当にありがとうございました。



【3年生】家庭科の実習で津奈木・津南保育園での保育実習を行いました。1学期から保育実習に向けておもちゃ作りを行い、それを携えての実習です。当日は子供たちに囲まれながら笑顔がいっぱい。自分の作ったおもちゃを使って



喜んで遊ぶ園児の姿が、どんなに可愛く思えたことでしょうか。それと同時に、子供を育てるといふことの大変さも感じたことでしょう。親への感謝も感じましたか？

全国学力・学習状況調査の結果分析

4月に3年生は全国学力・学習状況調査を受け、7月に結果が公表されました。今年は、国語・数学・理科の調査が実施されました。単純な読み、書き、計算だけではなく、複数の資料や文章などを読み解く力や、思考力・判断力・表現力などが問われる調査です。そのため、該当教科だけの問題ではなく、全ての教科にわたる指導の結果が表われる調査だと考えます。そのため、結果分析も、毎年全職員で行います。

国語は、平均正答率が全国や県平均を上回り、数学は、全国を下回ったものの県平均とは同じでした。理科は、初めてタブレットを使った調査で、全国や県平均を少し下回っていました。

【成果と課題】

○国語の正答率は全国比で10ポイント以上高い項目も多く、自分の考えを書く問題に対応できている。

○数学では昨年度までの基礎学力向上の取組により、基礎的な計算問題について高い正答率となっている。

●国語の正答率3割未満の生徒は約20%。同じ読み方をする漢字や文章中の変換ミスの漢字を見つけるなど、漢字にまつわる間違いが多い。

●数学の正答率3割未満の生徒は約40%。主に式や考え方の説明を求める問題の誤答が多い。

●理科は、タブレットで回答。基本的な問題や正しい選択肢を選ぶ問題に間違いが多かった。

【今後の対策】

◇すべての授業において、自分の考えや思考の流れを言語化する取組を実践する。

◇スキルとしての話し合いの力を高めるために「ここトレ」を実施し、生徒同士が「話す」「聞く」力を向上させる取組を行う。

◇教師は、生徒の意見交流を活性化させるためのコーディネートを意識する。

◇基礎・基本については、引き続き授業での確認の場を設け徹底するとともに、つなぎタイムや朝自習の時間を有効に活用し、その定着を図る。



※次号では、i-check（質問紙）の結果をお知らせします。